

## 新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 25-054	
研究課題名	子宮体癌に対するレンバチニブ+ペムブロリズマブ併用療法の予後因子の検討
研究の目的・意義	子宮体癌に対するレンバチニブ+ペムブロリズマブ(LP)併用療法の効果を予測できる因子を探索することを目的とし、本研究により同定された因子をもとに効果予測モデルを作成することを目指します。 この方法により、より適切な対象に LP 療法を選択できるようになり、より適切に LP 療法を継続・中止するか判断できるようになります。また、LP 療法を開始した症例に対して適切な投薬と副作用の管理を行うことが可能になることが想定されます。
研究期間	承認日から 2029 年 3 月 31 日まで
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	当院で LP 療法を施行された子宮体癌の患者様の診療録の情報を利用します。利用させていただく情報については、氏名や診療番号を消して、解析データと一部の診療録の情報のみを利用します。処理した情報は、あとで遡って個人を特定することはできなくなります。 また、得られたデータが医学の発展や人類に有益と考えられる場合には個人が特定できない形で学会発表や論文化する可能性があります。
利用し、または提供する試料・情報の項目	個人情報を含まない診療記録
対象者及び対象期間	対象者:当院で LP 療法を施行された子宮体癌の患者さん 対象期間:2018 年 10 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日まで
利用の範囲	・新潟市民病院 産科・婦人科 ・新潟大学大学院医歯学総合研究科 産婦人科 ・新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科 ・新潟県立中央病院 産婦人科 ・長岡赤十字病院 産婦人科 ・長岡中央総合病院 産婦人科 ・魚沼基幹病院 産婦人科
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 産婦人科 吉原弘祐 新潟市民病院 産科 倉林 工
問い合わせ先	新潟大学大学院医歯学総合研究科 産婦人科 吉原弘祐 Tel:025-227-2320 E-mail: <a href="mailto:yoshikou@med.niigata-u.ac.jp">yoshikou@med.niigata-u.ac.jp</a> 新潟市民病院 産科 倉林 工 Tel:025-281-5151(代表)